

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公開番号】特開2004-211797(P2004-211797A)

【公開日】平成16年7月29日(2004.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-029

【出願番号】特願2002-382271(P2002-382271)

【国際特許分類】

F 1 6 C 33/66 (2006.01)

C 1 0 M 105/04 (2006.01)

C 1 0 M 105/18 (2006.01)

C 1 0 M 105/38 (2006.01)

C 1 0 M 115/08 (2006.01)

C 1 0 M 169/02 (2006.01)

C 1 0 N 20/06 (2006.01)

C 1 0 N 30/06 (2006.01)

C 1 0 N 40/02 (2006.01)

C 1 0 N 50/10 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 33/66 Z

C 1 0 M 105/04

C 1 0 M 105/18

C 1 0 M 105/38

C 1 0 M 115/08

C 1 0 M 169/02

C 1 0 N 20:06 B

C 1 0 N 30:06

C 1 0 N 40:02

C 1 0 N 50:10

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 内輪と外輪との間に保持器を介して複数の転動体を略等間隔に転動自在に保持し、かつ繊維長が少なくとも3 μ mである繊維状物を含むジウレア化合物を増ちょう剤として含有するグリースを封入してなることを特徴とする転がり軸受。

【請求項2】 繊維長が少なくとも3 μ mである繊維状物が、増ちょう剤全量の30重量%以上を占めることを特徴とする請求項1記載の転がり軸受。